

広報

かわにし

milife

かわにしの未来へつなぐ生活情報誌 [ みらいふ ]

05

Public Relations  
Magazine  
in Kawanishi City

May, 2025 No.1433

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/>

こども・若者の意見を  
受け止めよう！

こども・若者の意見を  
届けよう！

# こども・若者 参加条例

特集

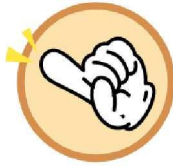
こども・若者参加条例が制定  
未来へつなぐ笑顔と幸せの架け橋

市ではこども・若者の意見表明や参加の機会を守っていくためのルール作りを進めてきました。今回、令和7年度より施行されたこども・若者参加条例について紹介します。

かわにし  新時代へ

Topics

歯と口の健康フェアを開催  
子どもや子育てのこと相談してみませんか



# 「子ども・若者参加条例」のポイントはこちら

市は、育ち学ぶ施設、保護者、団体、市民などと協力し、あらゆる場で子ども・若者の意見が尊重され、子ども・若者にとって最善の利益が図られるまちをめざします。

## 多様な意見の聴取

市は、自発的に上げられる意見だけでなく、さまざまな事情で自分の考えなどを伝えることが難しい、子ども・若者の意見も積極的に聴いていきます。

## 子ども・若者のメッセージ

条例の前文として、子ども・若者が意見表明をするときに、周りに大切にしていほしいことなど、子ども・若者からのメッセージが記されています。

- ①意見を聞くときは親身になって真剣に聴いて答えてほしい
- ②話を途中で遮らずに最後までしっかりと聴いてほしい
- ③伝えたい意見をむやみに他の人に言ったりしないほしい
- ④少数派の意見も尊重し受け止めてほしい
- ⑤伝えたい意見がどうなったか教えてほしい
- ⑥安心して意見を伝えることができる雰囲気や環境をつくってほしい

## 条例で保障すること

条例では大きく次の二つのことを保障しています。

- 子ども・若者の意見表明権
  - 自分の意見を自由に伝える権利
  - 意見表明をするために必要な情報を受け取る権利
  - 意見を伝えたとことで不利益を被らない権利
- まちづくりに参加する権利**
- ・まちづくりやいろいろな社会的活動に、主体的に参加する権利

※意見表明とは、意見だけでなく表情や身ぶりなど言語によらない方法も含みます。

## INTERVIEW



**玉木 健弘**  
Tamaki Takehiro  
武庫川女子大学心理・社会福祉学部心理学教授。  
令和3年から、市子ども・若者未来会議副会長を務める。また、市子ども参加条例検討部会長も務めた。

## 子ども・若者の可能性を広げたい

この条例の策定には、私が当初想定していたよりもずっと多くの子ども・若者が参加してくれました。私たちがおとなが気付いていないだけで子ども・若者は「自分はこう思っている」「こういうことに参加したい」という思いをちゃんと持っているのだということを改めて思いました。

今回の川西市の取り組みは、子ども・若者が自分の思いを表明する権利、まちづくりに参加する権利を保障することに重点を置いているという点、またそれを子ども・若者と一緒に策定したという点で、全国的にも珍しいものだと思います。

私は、子ども・若者には無限の可能性があると考えています。その可能性を少しでも広げるお手伝いをしたいという思いで、条例策定に取り組みました。

川西市の未来は子ども・若者の皆さんがつくっていくということとは間違いありません。皆さんには、自分が思っていることやりたいことをぜひ実現していただきたいと思っています。そのために私たちおとなの役目として、子ども・若者に寄り添い、支援し続けていきたいと思っています。



## 特集

# 未来へつなぐ笑顔と幸せの架け橋

子どもや若者があらゆる場で安心して意見を表明できることをめざし、制定された「子ども・若者参加条例」。同条例の内容や制定までの過程などを紹介していきます。

問い合わせ 子ども政策課 ☎ 072(740)1246

### 子ども・若者の意見や考えに寄り添う

皆さんは、何かを決める時、子どもや若者の意見を聴いていますか。子ども・若者に聞けることも、おとなだけで決めてしまうことはないでしょうか。

たとえば、コロナ禍において、運動会や修学旅行などの学校行事について、おとなたちが感染症対策という観点から子どもたちの安全性を最優先に考えた結果、行事を中止するという判断をしたことがありました。子どもたちにとっては、楽しみにしていた学校行事が急になくなったことで、いろいろな意見や思いがあつたのではないかと思います。子どもたちの意見や思いを聴き寄り添い、一緒に考えることができれば異なる結果になっていたかもしれませんし、同じ中止という判断となった場合でも子どもたちの思いがまた違ったものになったのかもしれない。

### 意見が尊重される環境を

そうした経験から、家庭や学校、地域などあらゆる場で

子ども・若者が安心して意見を言うことができ、その意見が尊重される環境をつくりたい。そんな思いから「子ども・若者参加条例」の制定に動き出しました。

### 子ども・若者が主役となる条例にするために

子ども・若者が参加する条例検討部会を開催し、自分の意見表明することなどについて、意見交換を行いました。また、おとなで構成する条例検討部会も併行して開催することで、それぞれの立場の意見を反映した条例作りを進めてきました。

さらに、さまざまな世代が意見交換をする機会を設けることで、互いの思いを知り、新たな気付きにもつながりました。各部会で出た意見については、条例のあらゆるところにその思いが込められています。

特に、条例の前文については、参加者と一緒に条例作りをした過程を大切にしたいと考え、子ども・若者からのメッセージを掲載しました。詳しくは、3ページ以降で紹介しています。

## 参加者の声

### Interview

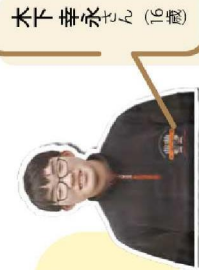
「こども・若者による意見表明の条例検討部会」の参加者にインタビューしました。

- ① どういうきっかけで参加しましたか
- ② 参加してみてどうでしたか
- ③ 会議の雰囲気やファシリテーター（市職員）と関わってみてどうでしたか

鈴木 きりさん 15 歳



① 母に勧められて、貴重な経験ができると思い参加しました②話すことが苦手でしたが、今回参加したことで自分の意見を言うことができました。人の意見を聞き出すことに苦手意識がありました。今回参加して克服できました③ファシリテーターと仲良くなれたし、おとなの人も年齢関係なく同じ目線で話してくれて雰囲気も良く話しやすかったです



山下 幸永さん 16 歳

① いろいろな世代と関わることができると参加しました②最初は大変でしたが、意見を言うこともできたし、皆さんが肯定して聞いてくれるので話しやすかったです③ファシリテーターの人が優しく話しかけてくれて、市の職員のイメージが変わりました。雰囲気にもよぎやがで楽しく参加することができました

瀬谷 美晴さん 28 歳



① 社会人としてこどもに関わる仕事をしていることから、学生と話すきっかけになるのではないかと考えて、参加しました②グループワークで話し合いをするときのルールなど子どもと決められていて、安心して意見を言うことができた③市の職員をはじめとする皆さんが、温かく迎えてくれていろいろなアイデアをもらいうことができました

## 笑顔と幸せの連鎖を広げていく

市長 越田 謙治郎



令和6年度から始まった第6次総合計画では、まず、こどもの幸せから始めるという基本姿勢を示しています。この姿勢については、多くの市民から共感の声を頂いています。私たちおとなは「こどもが『幸せにしたい』という思いが強く、時として、こどもの声に耳を傾けずにルールや、施策を決めてしまうことがあります。だからこども、こどもが『が』『幸せになる』ためには、こどもたちが当事者として意見を表明できる機会が何よりも重要です。市では、こどもや若者が、意見や考えを表明できる場所を提供し、市の施策や計画の策定などに直接参加できる機会

を増やしていきたいと思います。私も条例検討部会に参加しましたが、上手に発言できなかったことが、みんなと話すうちに自分の言葉で意見をしっかりと話せるようになり、感動したことを鮮明に覚えています。こうした取り組みが、これからの未来に必要な思いを強くしました。またこの条例を制定する際に、オンラインでの意見交換会を実施したように、積極的に意見表明ができない一声の聴かれにくいこども、声が届く仕組みを作っていきたいと思っています。こどもの笑顔は、こどもの幸せだけでなく、周りにいるおとなたちの幸せにつながります。笑顔と幸せの連鎖を広げ、市全体に活気が満ちあふれる、そんなまちにしていきたいと考えています。

# こども・若者参加条例 今後の取り組み

「すべてのこども・若者があらゆる場で安心して意見を表明することができ、まちづくりなどに参加する機会が保障されるまち」をめざして、市が取り組んでいく内容の一例を紹介します。

## 意見を実現するための支援

よりよい川西市や学校にするために、こどもたちが主体的に考え、議論し、必要に応じて予算を活用しながら思いを実現できるような支援します。

## 施策などに関わる仕組み作り

こども・若者が市の施策や取り組みに参加したり、主体的に関わることで、でききる仕組みを作ります。決まり次第市ホームページや広報誌などでお知らせします。

## 意見を聞く窓口を設置

市役所3階こども政策課に気軽に意見を言える窓口を設置。また、ウェブ上に専用フォームを設けて、いつでも意見を言うことができ、環境をつくりまします。

## 委員の公募

有識者や市民などで構成される市の検討会に参加する機会を確保するため、公募などでも、若者委員を選びます。会議の時間や出席方法についても、参加しやすい工夫を行います。

## 施設を訪問して意見を聴取

学校やこども・若者が使う施設などを訪れ、積極的に意見を聴きます。また、声を聴かれにくい状況にあるこども・若者など多様な人の意見を聞くように努めます。

## 条例を周知するイベントを開催

条例を市民の皆さまに知ってもらうためのイベントを開催します。日時や場所など決まり次第、市ホームページや広報誌などでお知らせします。

## 分かりやすい情報を発信

意見を表明するために必要な情報を、分かりやすい資料を作成するなどして伝えます。用語の言い換えやイラストを使った説明など、年齢などに応じて工夫を行います。

## 「こども・若者参加条例」詳しくはこちらから



条文はこちらから



概要はこちらから